

【これまでの取り組みとR7年度の取り組み】

資料-8

(令和4年度)

- 阿賀川・大川ダム水辺現地調査(河川環境基図作成)を実施。
- 堤防植生マップとして、アブラナ類、重要種等の生育状況を調査、管内の植生分布図を作成。

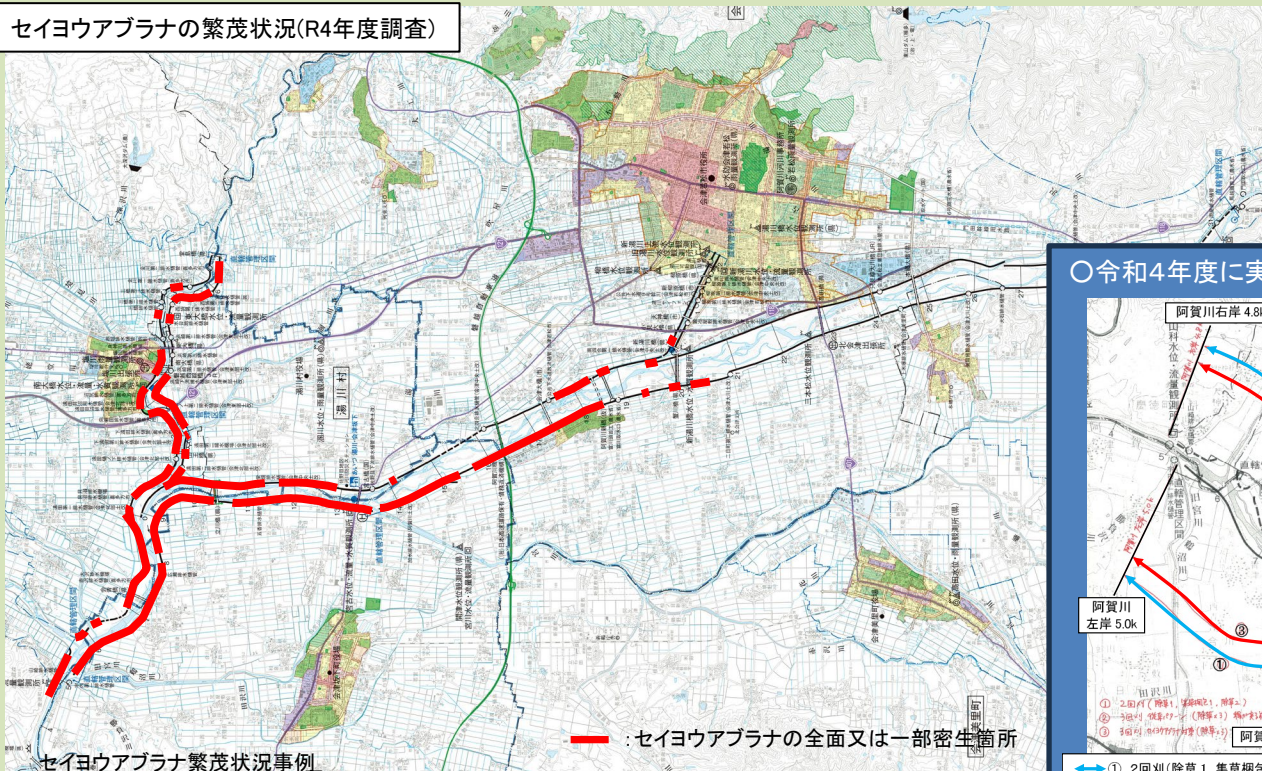
(令和5年度)※詳細後述

- 堤防の健全度に影響の大きいアブラナ類(特に、セイヨウアブラナ)の駆除を目的としたR4年度実施の除草試験結果をとりまとめ、一定の効果を確認。

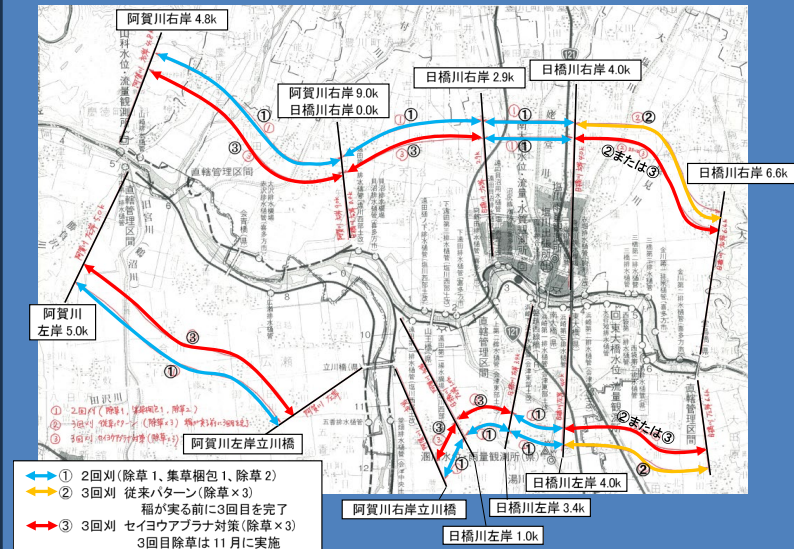
(令和6年度～8年度)

- 除草方法の違いによる効果について、継続して試験を実施、令和8年度に試験施工のとりまとめを実施する予定。

セイヨウアブラナの繁茂状況(R4年度調査)



○令和4年度に実施した除草時期の変更について



塩川出張所管内において、R4年通常の除草時期よりも遅い11月に3回目の除草を実施し、翌年度に繁茂状況を確認。
R7年度は除草方法の違いによる効果の検証方法について検討、試行を実施予定。

密生



一部密生



まばら



まばら



【令和6年度からの取り組み結果】

- 堤防の健全度に影響の大きいアブラナ類(特に、セイヨウアブラナ)の駆除を目的としたR5年度実施の除草試験結果を継続して実施。
- 試験施工の結果について、とりまとめを行う。
- スズメバチが多くアレチウリの駆除の支障が出ていた。

○セイヨウアブラナ対策

- ・塩川出張所管内において、11月に3回目の除草を実施(R4～8年度)。
- ・除草による駆除状況を確認。

右岸2.4k

R5.12撮影



R6. 4撮影



左岸6.4k

R5.12撮影



R6.4撮影



(今後の予定)

- ・R7年度に除草時期や方法(ハンドガイド式、肩掛け式等)の違いによる駆除効果について、試験施工を実施する予定だったが、実施できなかったため、R8年度にとりまとめを行う。

○アレチウリの状況調査

- ・令和6年度は夏場の気温が高かった事によるスズメバチの大量発生とアレチウリが異常に繁茂したことにより除去が困難であった。
- ・令和7年度は、融雪後の気温が上がらないうちに繁茂したアレチウリの除去を行えないか検討を行う。



アレチウリの繁茂状況(R6.7撮影)